

篠岡地区の学校再編に伴う 通学区域・スクールバスについて

2025年6月27日

1. 通学区域の変更について

2. スクールバスの導入について

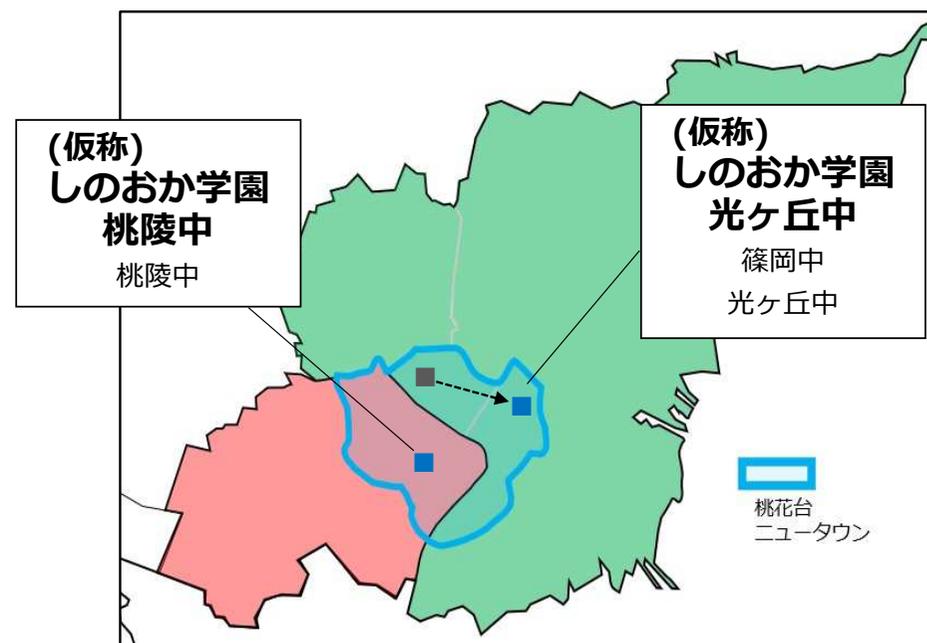
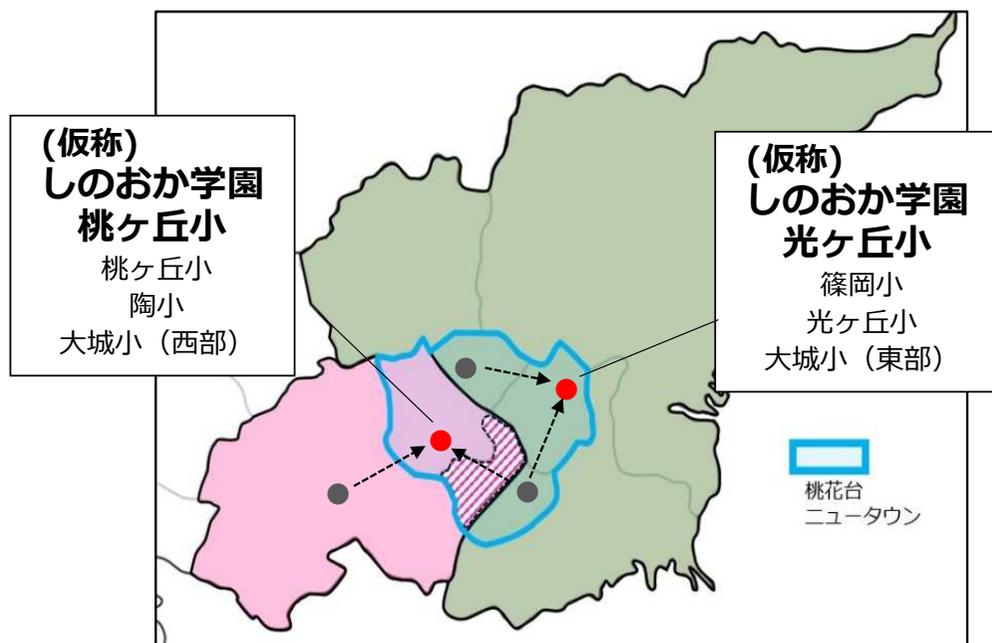
学校再編に伴う通学区域の基本的な考え方

- できる限り学校再編による子どもたちへの影響を小さくするため、**既存の通学区域の編成を極力生かします。**
- 学校と地域はつながりが深いため、基本的には**区（自治会）が分断されないように通学区域を編成します。**



第2回の会でお示しした再編案（第1期：令和9年度）

小学校 の再編案	(仮称) しのおか学園 桃ヶ丘小学校	桃ヶ丘小、陶小、大城小（うち桃陵中区）	桃ヶ丘小の校舎を活用
	(仮称) しのおか学園 光ヶ丘小学校	篠岡小、光ヶ丘小、大城小（うち光ヶ丘中区）	光ヶ丘小の校舎を活用
中学校 の再編案	(仮称) しのおか学園 桃陵中学校	桃陵中	桃陵中の校舎を活用
	(仮称) しのおか学園 光ヶ丘中学校	篠岡中、光ヶ丘中	光ヶ丘中の校舎を活用

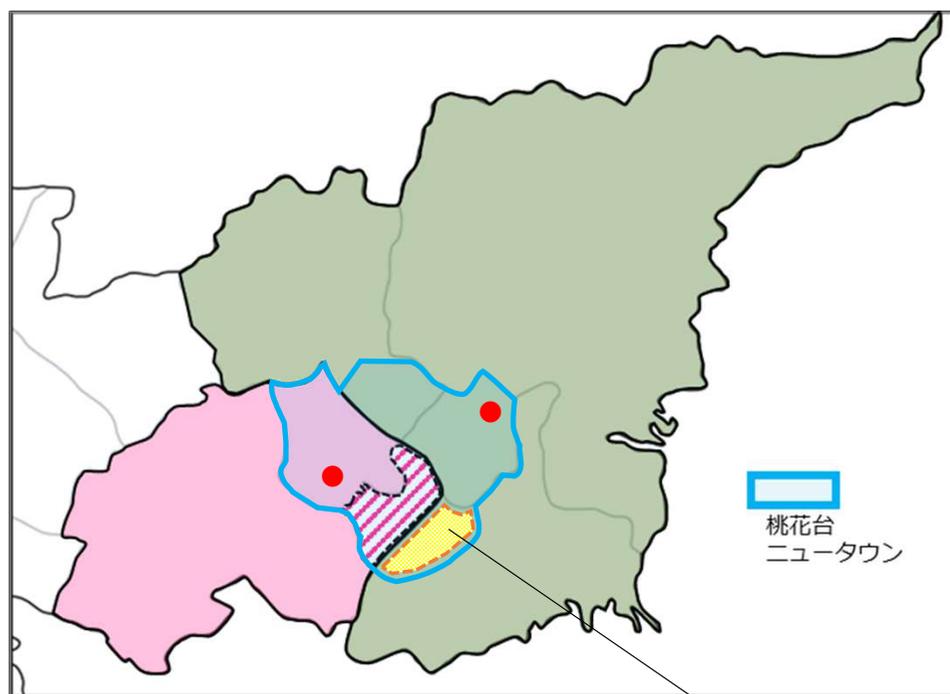


第2回の会でお示しした再編案（第1期：令和9年度）の課題

- **城山3・4丁目の児童生徒は、「光ヶ丘小・光ヶ丘中」の通学区域となりますが、基本的には「桃ヶ丘小・桃陵中」に通学する方が通学距離が短くなります。**

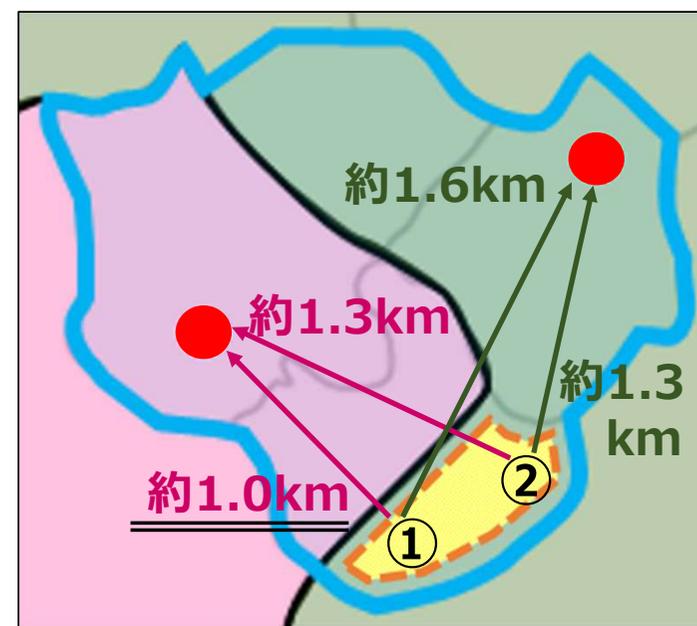
<小学校区>

※中学校区も同様



城山3・4丁目

通学距離のシミュレーション



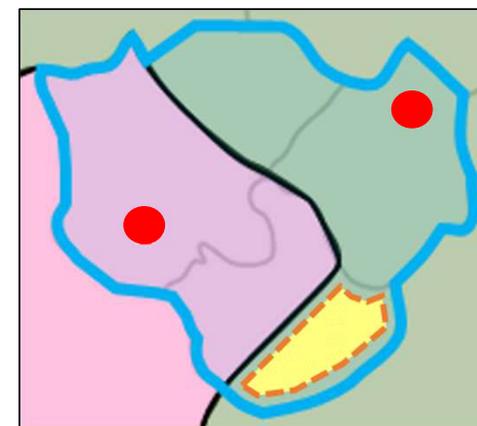
※測定地から学校までの直線距離

「城山3・4丁目」の通学区域の見直しについて

城山3・4丁目を「桃ヶ丘小・桃陵中」の区域にする場合

- **桃花台ニュータウンを一つのエリア**としてとらえることで通学区域をわかりやすく示すことができます。

城山、桃ヶ丘、古雅 … 「桃ヶ丘小・桃陵中」
篠岡、光ヶ丘 … 「光ヶ丘小・光ヶ丘中」



- 当該地域の児童生徒の**通学の負担を軽減**することができます。

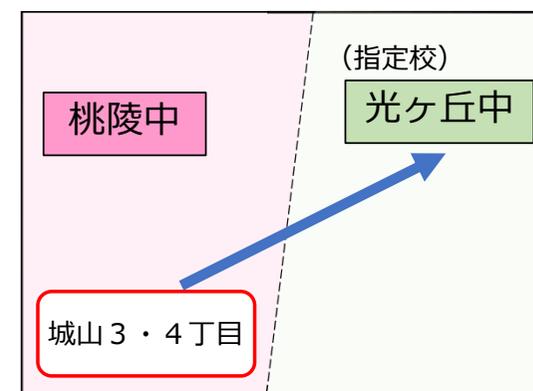
「城山3・4丁目」の課題に対する経過措置について

城山3・4丁目を「桃ヶ丘小・桃陵中」の区域とする場合の
光ヶ丘中の生徒が離れ離れになる対応（経過措置）について

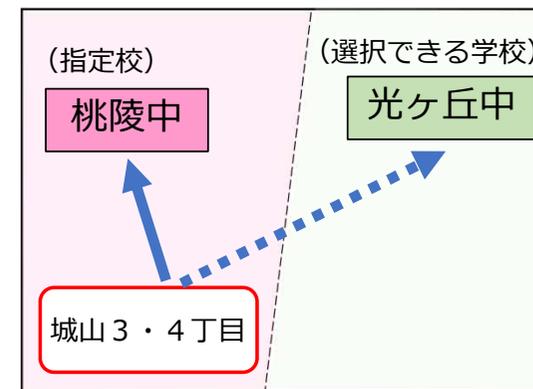
- 再編時点で光ヶ丘中に通学している城山3・4丁目の生徒は、**再編前の学校（光ヶ丘中）で卒業**します。
- 上記の対応をした場合、兄弟が別の中学校に分かれてしまう可能性があるため、当該地域の生徒については、R9年度以降の当面の間（2年程度）は、**再編による特別な事情があれば、本来は桃陵中であっても光ヶ丘中に選択できる**ようにします。

※ 城山3・4丁目の小学生については、通学の負担と安全を考慮し、桃ヶ丘小に通学することとします。

R9年度時点での中2・中3



R9年度以降の新入生



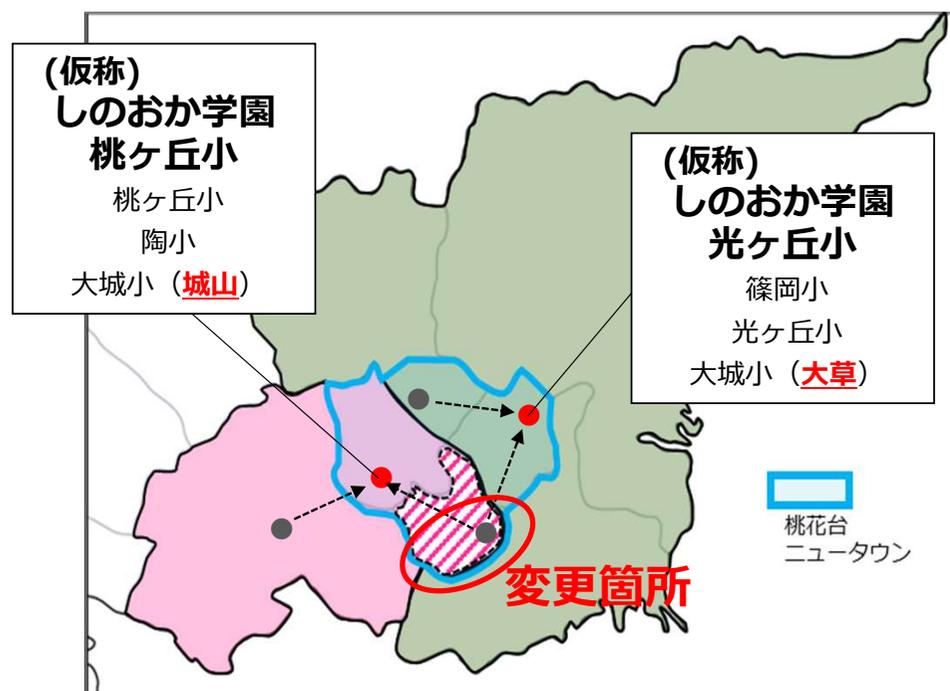
第1期 小学校の再編案（変更案）

『（仮称）しのおか学園 桃ヶ丘小学校』

桃ヶ丘小、陶小、大城小（**城山**） ⇒ 桃ヶ丘小の校舎を利用

『（仮称）しのおか学園 光ヶ丘小学校』

篠岡小、光ヶ丘小、大城小（**大草**） ⇒ 光ヶ丘小の校舎を利用



（参考）現在の小学校区



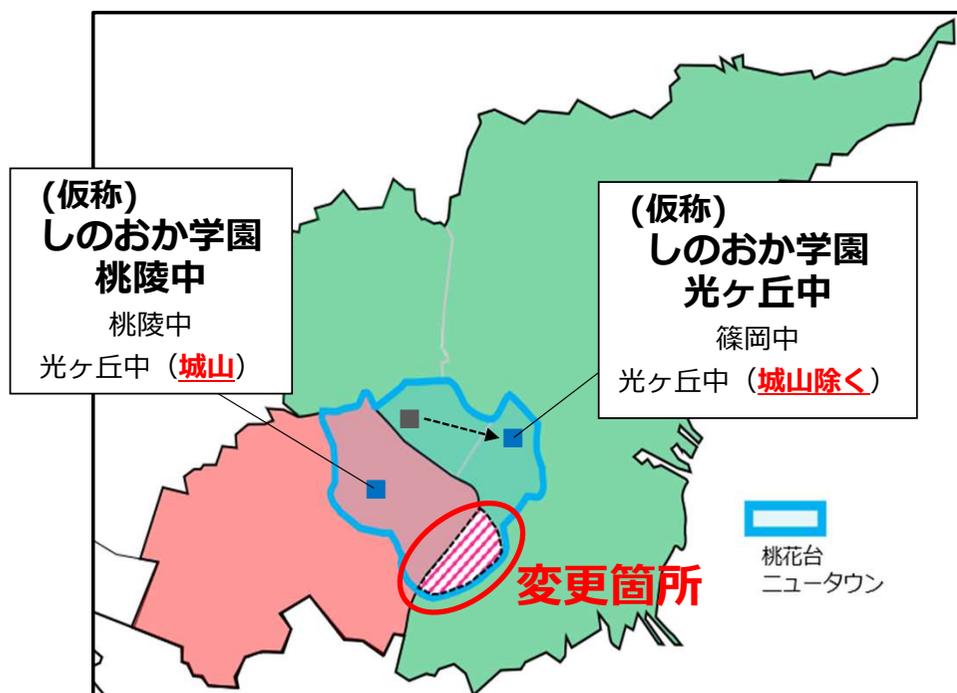
第1期 中学校の再編案（変更案）

『（仮称）しのおか学園 桃陵中学校』

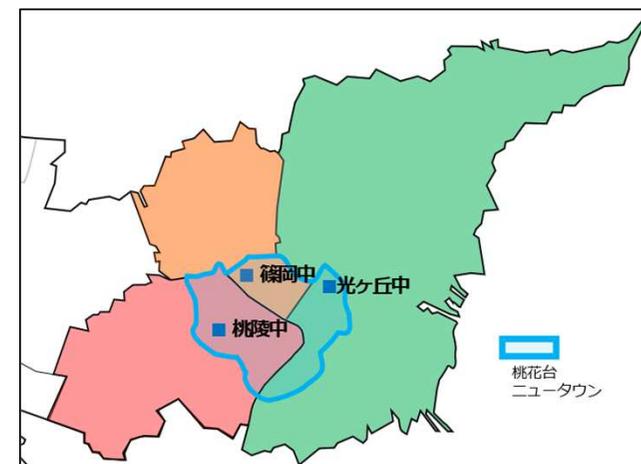
桃陵中、光ヶ丘中（**城山**）⇒ 桃陵中の校舎を利用

『（仮称）しのおか学園 光ヶ丘中学校』

篠岡中、光ヶ丘中（**城山除く**）⇒ 光ヶ丘中の校舎を利用



（参考）現在の中学校区



第1期 再編後の学校規模（変更案）

再編後の児童生徒数・学級数の推計（R9年度）

＜小学校＞ 1学級あたりの平均児童数：30.2人

(仮称) しのおか学園	1年				2年				3年				4年				5年				6年				合計	
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	学級数
桃ヶ丘小	83	45	38	3	69	37	32	2	67	32	35	2	84	47	37	3	99	49	50	3	118	65	53	4	520	17
光ヶ丘小	61	31	30	2	79	39	40	3	79	43	36	3	100	41	59	3	85	45	40	3	94	56	38	3	498	17

＜中学校＞ 1学級あたりの平均生徒数：33.6人

(仮称) しのおか学園	1年				2年				3年				合計	
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	学級数
桃陵中	130	70	60	4	117	56	61	3	123	64	59	4	370	11
光ヶ丘中	105	47	58	3	126	65	61	4	131	56	75	4	362	11

※ 人数は特別支援学級の児童生徒を含む

※ 学級数は特別支援学級を除く

※ 小学校の全学年及び中学校の1年生は35人学級、中学校の2・3年生は40人学級で算出

1. 通学区域の変更について

2. スクールバスの導入について

学校の適正配置の基本的な考え方（新たな学校づくり推進計画）

- 小牧市における学校の適正配置の基本的な考え方は次のとおりです。

＜通学距離・通学時間＞

小学校は、おおむね **4 km以内**（おおむね **1 時間以内**）を目安

中学校は、おおむね **6 km以内**（おおむね **1 時間以内**）を目安

- ただし、徒歩での通学距離が著しく遠距離となる子どもたちについては、通学距離や学年等を考慮した上で、公共交通機関の活用や**スクールバスの導入等**の検討が必要

スクールバスの基本的な考え方

(1) 運行日

- 学校の**登校日**
- 休日や長期休暇（夏季休み等）は運休としますが、**学校行事等（運動会や出校日等）は運行**します。

スクールバスの基本的な考え方

(2) 運行台数

- **4～5台** (想定)

(3) 運行本数

- 登校時 **1便**
 - ・ 午前8時15分頃までには学校に到着できるよう運行ダイヤを設定
- 下校時 **2便**
 - ・ 学年により授業を終える時間が異なることを考慮
 - ・ 全校児童が同じ下校時刻となる場合は1便

(4) 乗降場所の条件

- 待機中や乗降時の児童の**安全性を確保**できること。
- スクールバスが駐停車しても、**他の走行車両や歩行者に影響を与えない十分なスペース確保**できること。

※上記から、乗降場所については、**学校敷地内に限りません**

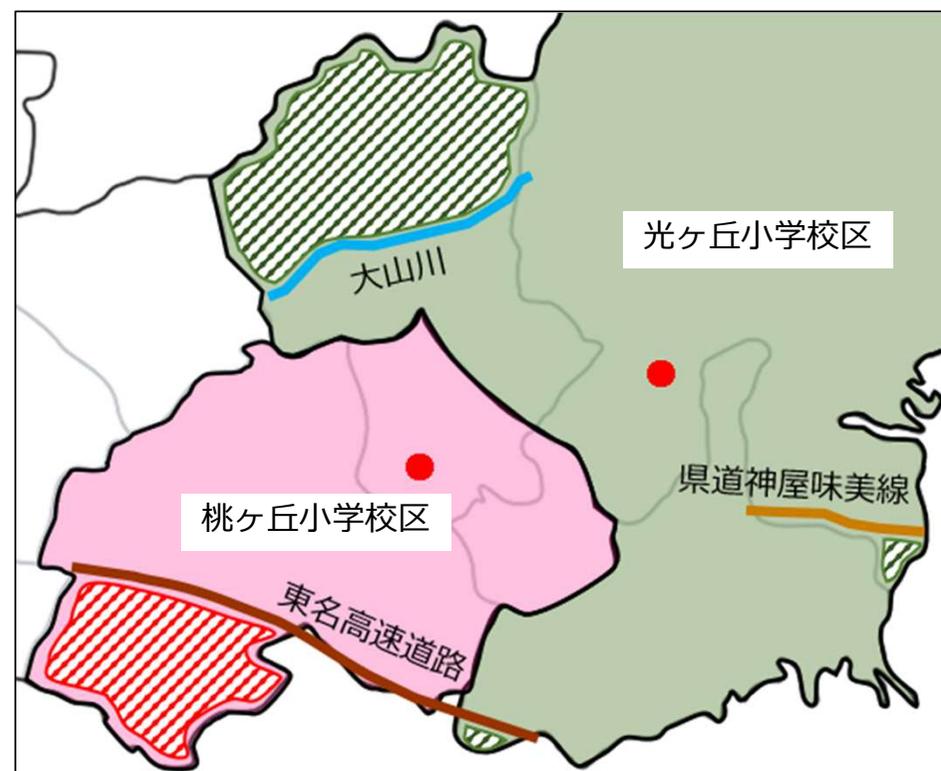
(5) 利用料金

- 市の施策によって通学距離が遠くなるという点を考慮し、スクールバスに係る費用は市が全額負担し、児童は**無料で利用**できることとします。

スクールバスの基本的な考え方

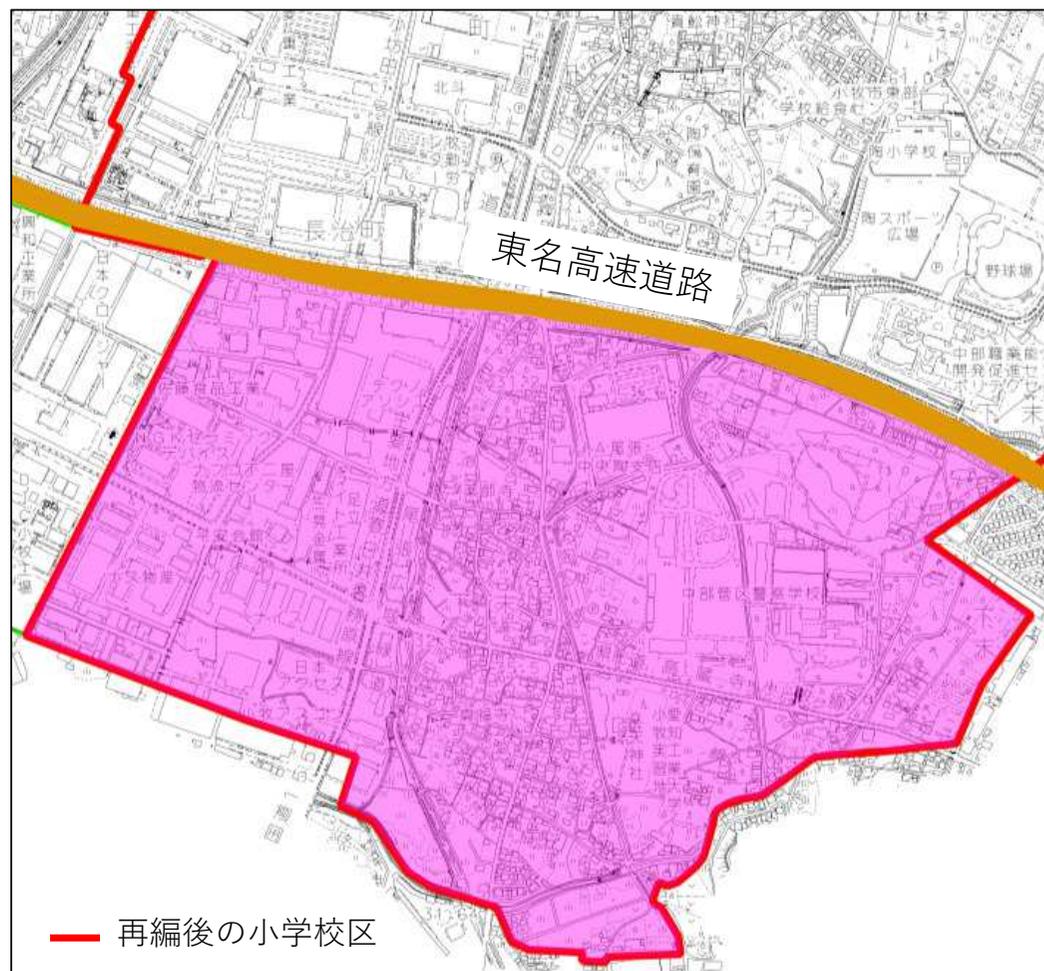
(6) 対象エリアの基準

- スクールバスの対象は、現在の篠岡地区の児童のうち最も遠い通学距離が直線距離で約2.1 km程度であるため、再編後の徒歩通学距離がそれ以上にならないよう、**学校からの直線距離が2.0km程度を目安**とします。
- **学校再編に伴い通学距離が遠距離になる地域**を中心に**地形や道路**によりエリアを定めます。



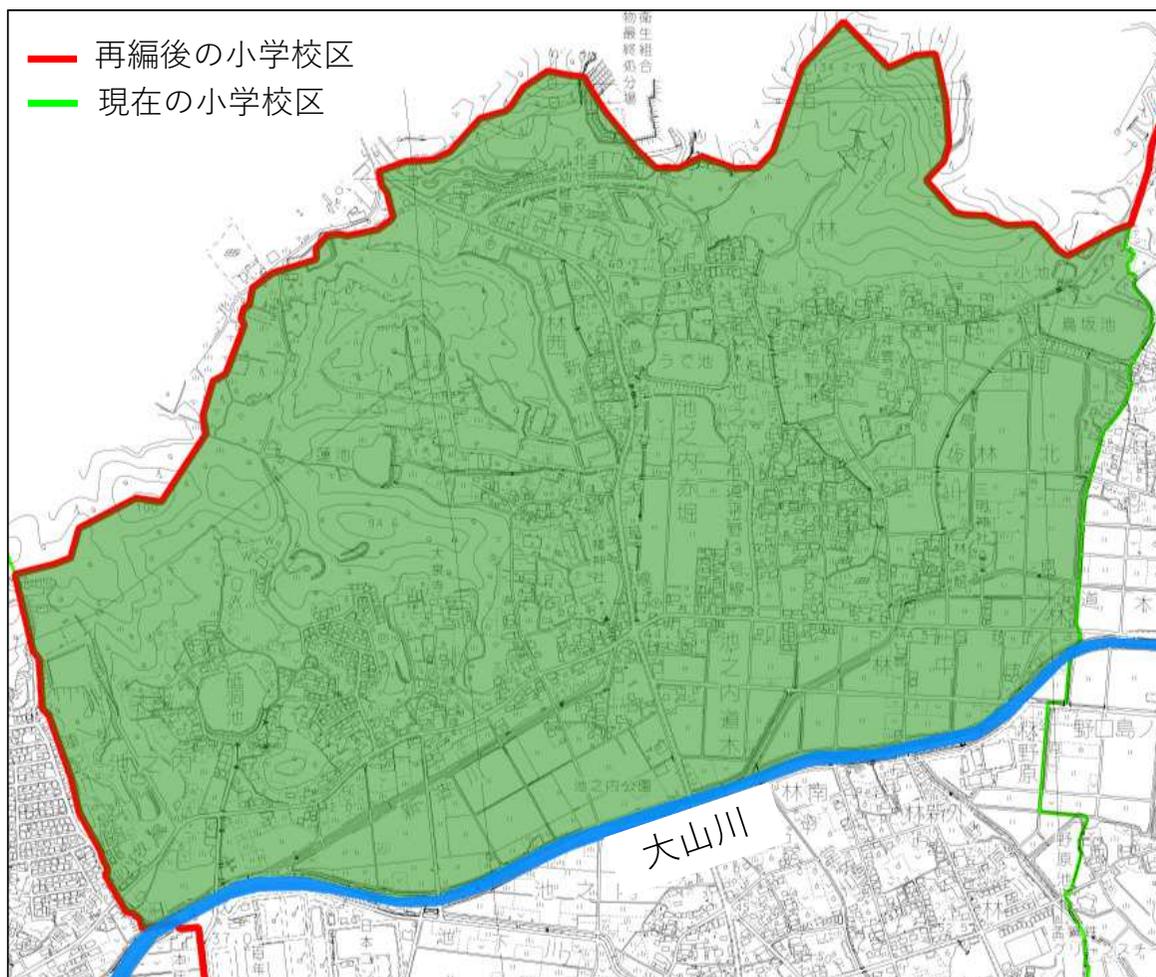
桃ヶ丘小学校のスクールバスエリア（下末、上末）

- 現在の**陶小学校区**のうち**東名高速道路以南**を対象とします。



光ヶ丘小学校のスクールバスエリア（池之内、林）

- 現在の篠岡小学校区のうち大山川以北を対象とします。



光ヶ丘小学校のスクールバスエリア（大草）

- 現在の**大城小学校区**のうち**東名高速道路以南**を対象とします。



光ヶ丘小学校のスクールバスエリア（小牧ヶ丘）

- 現在の光ヶ丘小学校区のうち県道神谷味美線以南を対象とします。



今後の検討事項

- **バスの停留所、運行ルート、運行時間、連絡体制**（保護者・学校・運転手）**など**多岐にわたって検討していく必要があります。
- 今後、スクールバスの事業者から詳しくヒアリングを行い、調整を行うなど、安全で安定した運行体制が構築できるよう検討していきます。
- また、運行ルートの検討においては、令和8年度中に児童や保護者を対象とした**試乗会等**も企画していきます。
- 加えて、スクールバスと並行して、中学生の自転車通学についても検討を進め、子どもたちが安全に通学できるよう、**通学路の点検や安全対策（通学路看板の設置等）**を行います。
- 具体的な内容が決定しましたら、保護者や地域の方々にお知らせをします。